

10月17日は貯蓄の日 お金の知識を あなたの力に

「お金」は、私たちの日常生活に欠かせない大切なものです。だからこそ、正しい知識を基に、活用したいもの。そこで必要となる「金融リテラシー（お金の知識・判断力）」や、お金との上手な付き合い方について、山形県金融広報委員会副会長で日本銀行山形事務所長の猪又祐輔さんに伺いました。

お金との付き合い方 知って、より良い生活



山形県金融広報委員会副会長
日本銀行山形事務所 所長
猪又祐輔 氏

「お金の知識をあなたの力に」。2024年に官民一体で設立された金融経済教育推進機構（J-FLEC＝ジェイ・フレック）のキャッチフレーズです。お金に関する知識を身に付けると、より良い生活を送ることができるようになります、との意味が込められています。

学び深まる一方 依然トラブルも

J-FLECが昨年行った「金融リテラシー調査」で、「金融経済教育を受けた」と認識している人の割合が山形県は12・6％で全国1位。2022年調査の5・5％から大きく伸び、全国平均の8・7％を上回りました。加えて、「金融トラブルを経験した」人の割合は、22年の11・9％から昨年は6・7％に減少。金融教育の浸透が功を奏したと考えられます。

とはいえ、お金に関するトラブルは依然起きています。例えば特殊詐欺。県警察本部によると、25年1年間の県内の被害額は約10億円を超えて過去最多となりました。今年は9月末の段階ですでに約8・5億円と増加傾向にあります。

手口が巧妙化しているので、お金の知識を身に付けて「これはおかしい」と気付くことが、被害を防ぐ最後の砦（とりで）となります。

日常生活の中で 欠かせないお金

日常生活の中で、お金とのお付き合いはあらゆる場面で発生します。毎日の出費としては食料品や日用品の買い物、通勤・通学の際の交通費など。家電製品や車などの大きな買い物も時々必要になるでしょう。また住居の確保、子どもの進学や就職、結婚、老後の備えなど生活設計に関わることでも、お金との兼ね合いを考える必要があります。

その際、アドバイスを受けるなど専門家の力を借りながらも、最後は自分で判断して決めなければなりません。後悔しないためにも、お金について学び、自分の力にしておきたいものです。

J-FLECが 学びの機会提供

J-FLECは国、県（金融広報委員会）、日銀、銀行協会、日本証券業協会と協力し、さまざまな学びの機会を提供しています。企業や学校などに講師を派遣しての出張授業、イベントやセミナーの開催に加え個別相談にも対応しています。その際、特定の金融商品やサービスを推奨したり、販売したりすることはありませんので、安心してご相談いただけます。

お金との付き合い方を知って、より良い生活を送りましょう。

広告

J-FLEC
❶講師派遣
❷セミナー
❸個別相談、等
全て無料
J-FLEC 公式ウェブサイト